

## オガサワラカワラヒワへの給餌の試行（環境省）

### 1. 目的等

- ・オガサワラカワラヒワの繁殖成功率を上げること、また台風等の影響により餌資源が不足した場合の死亡率を低減させることを目的とした本種への給餌手法の確立を目指す。
- ・令和4年度業務においては給餌の試行をおこない、得られた結果をマニュアルとして取りまとめることを第一の目的とする。また、オガサワラカワラヒワの危機的状況を鑑み、試行を通じた給餌そのものについても第二の目的とする。

### 2. 令和4年度の給餌試行事業実施地域

### 3. 令和4年度の給餌試行方法

- ・給餌は業務で製作する餌台（仮設工作物）を用いて実施。
- ・仮設工作物は市販の地上設置式または吊り下げ式のバードフィーダーを用いて、採餌に来たオガサワラカワラヒワがノネコ等の捕食を受けない構造となるよう制作（図2，3）。また餌の飛散が想定されるため、飛散した餌を採餌する個体への捕食についても防止できるように留意する。（ノネコ対策業務と連携）
- ・出来るだけ母島においても調達が容易な材料を用い、安価かつ簡便（設置、撤去、現状復帰が容易）な構造とする。
- ・台風等の荒天時に材料が飛散しないようにする。
- ・給餌する期間は8～10月の3ヶ月程度を予定し、使用する餌は麻、米、カナリーシード等の混合を用いる。
- ・餌として用いる種子については、外来種の侵入にならないよう、業務において十分な発芽防止措置を行うとともに、発芽試験を実施。
- ・採餌に来た生物は自動撮影カメラにより記録する。
- ・試行の結果を踏まえ、次年度以降の給餌マニュアルを作成する。

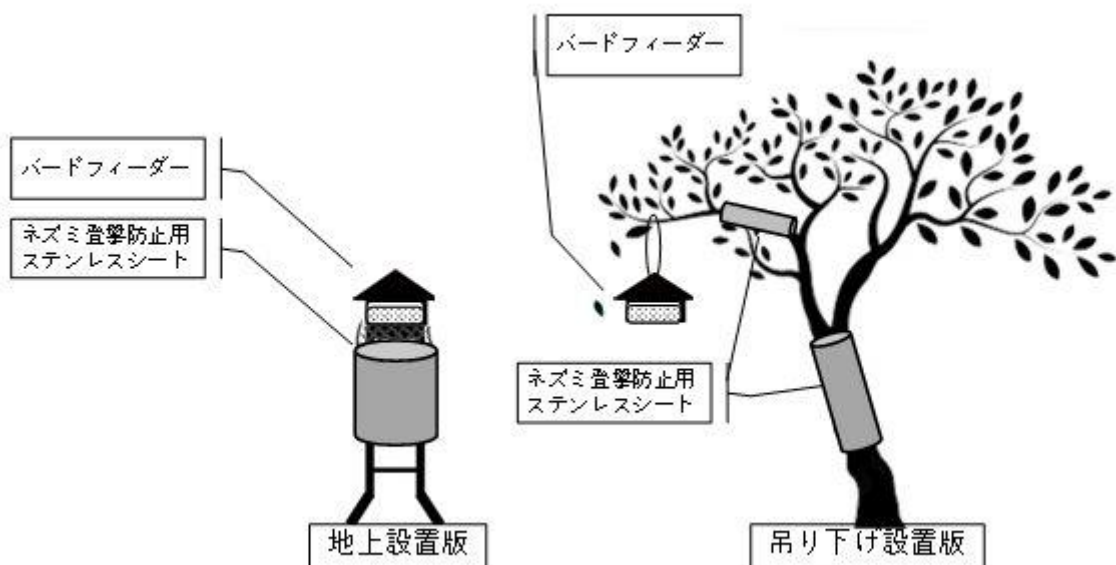


図2：制作する餌台のイメージ



仕様  
サイズ：直径16.5cm x 高さ16.7cm  
材質：プラスチック製  
重量：133g  
耐荷量：約1kg  
適用場所  
芝、ペランダ、テラス、お庭・軒先など



図3：使用するバードフィーダー（市販品）



図3：設置イメージ（左：吊り下げ型、右：地上設置型）

以上